

アスベスト等に関する情報開示

2017年3月14日

滋賀短期大学

【吹き付けアスベスト等の状況報告】

現在、吹き付けアスベスト等を使用している箇所におけるアスベスト繊維の飛散はありません。

※アスベストは、自然界に存在する繊維状鉱物であり、私たちの生活環境空間にも存在している物質です。耐久性、耐熱性、耐薬品性、耐絶縁性、施工性等に優れた性質を有し、廉価であることから、建物の断熱・保温・吸音材や鉄骨の梁・柱の耐火被覆を目的とした建築材料として過去に広く使用されてきました。

2016年10月21日に本学の吹き付けアスベスト等が使用されている箇所について、粉じん濃度測定を実施し、飛散状況の確認を行いました。その結果を報告します。

アスベスト建材が使用されている箇所	
○1号館ボイラー煙突 ○2号館図書館棟3階屋根裏・鉄骨小屋組	2か所

※粉じん濃度測定

測定日:2016年10月21日

測定結果:すべての測定点において、石綿粉じん濃度0.5 f/L未満(測定検出限界以下)

今後の対策

定期的に粉じん濃度測定(年1回以上)を実施し、該当箇所における室内空気環境の維持管理を行います。また改修・解体工事の実施に併せて、除去等の対策を講じます。

なお、1号館ボイラー煙突は2017年に除去工事予定です。

本学は、今後もアスベスト飛散防止の徹底を図るため、関係法令等を遵守し適宜・適切に対策を講じます。